

（平和條約問題研究資料）

昭和三一、一、三一

課題

政治條項ニ關スル諸問題

政治條項ノ内容トシテ採上ケラルヘキ具體的問題

× 想定ト之ニ對スル具體的方針

（研究議案）

政務局

外務省

機

政治條項ノ内容トシテ採上ケラルヘキ具體的問題ノ想定ト之ニ對スル具體的方針

本件ヲ研究スル態度トシテ注意スヘキ點左ノ如シ

イ、「平和條約問題」ナル字句ヨリ或程度對等ナル立場ヨリ「條約」ヲ締結スルカ如キ印象ヲ受ケ不識不識ノ内ニ「對等ナル當事者」ノ、錯覺ニ陥ル危險性ナシトセサルモ今回ノ平和條約ノ實質上ノ當事者ハ米英支「ソ」ノ四ヶ國ニシテ極言スレハ我方ハ重要諸條項ヲ「デイクテイト」サルルニ過キサルモノナルヘキ現實ヲ直視セサルヘカラス

ロ、平和條約ハ形式的ニハ一定ノ時期ニ於テ關係諸國間ニ於テ協議締結セラルヘキモ實質的ニハ今日ステニ形成サレツツアルモノト觀察スヘキナリ即チ占領ノ進行ト共ニ現ニ平和條約ノ内容カ一日一日實質的ニ作リアケラレブルモノト看待
ハ、國際狀勢ノ複雑ナル進展ノ下ニ英米支「ソ」ノ他關係諸國

外務省

間ニ對日平和條約ノ實質的內容カ形成サレツツアリトセハ我
方ノ對平和條約方針ハ現在聯合國司令部トノ關係メノ他ノ涉
外接觸面ニ於ケル工作トシテ措置サルヘキモノナリ

外務省

ニ政治條項トシテ採リ上ケラルヘキ問題ノ豫想

- ロ、將來日本カ民主的平和的内外政策ヲ採ルヘキ確約條項
- ハ、ロノ履行ニ關スル國際的監視ノ存置問題
- ニ、聯合國憲章ヘノ參加問題

外務省

除
第 7 回公開



(平和條約問題研究資料)

昭和二一三一

課題

政治條項

2、國体及民主主義問題ト平和條約

(研究試案)

政務局

外務省

本問題ハ日・米・英・法・ソノ問題ニシテ平和條約締結當事國ノミニ
 テハ決定シ得サル問題ナルモ何等カノ形式ニテ平和條約ノ條
 項ニ挿入セラルルコトアルヘシ
 ホ、自衛兵力ナキ日本ノ領土安全保障條項
 本問題ハ關係國間ニ相當權微ナル問題ヲ含ムヲ以テ平和條約
 ノ條項トシテ採リ上ケラルルヤ否ハ疑問ナルモ我方トシテハ
 最重要ノ問題ナルヘク、充分研究ノ要アリ
 一、進駐軍撤兵問題及基地貸與問題
 平和條約締結ノ時期ニ於テモ占領軍ノ一部カ尙撤兵ヲ完了セ
 サル場合アリ得ヘク又日本領土内ニ米國カ軍事基地等ヲ設ク
 ル要求モ起テ得ヘク、ホ、ノ問題ト關聯シテ慎重考慮シ置ク
 ヘキ問題ナリ

外務省

◎憲法問題（國体及民主主義問題）ト平和條約

(二一三)

「ウイルキー」ガ多分其ノ著「One World」ニ於イテ述ベテ、
 「戦争ハ究極ノ形ニ於イテハ「アイディア」ノ戦ニシテ、此ノ
 意味ニ於テ「アイディア」ノ世界ニ於テ完全ナル勝利非ザレバ
 一ツノ戦ニ勝敗アリタルトハ云ヘズ。斯カル意味ニ於テ眞ノ勝
 敗アリタル戦ハ史上極メテ稀ニシテ、斯クテ第一次大戦モ決シ
 テ眞ニ勝敗アリタルモノト断定スルヲ得ズ、今次戦争ニシテ意
 義アラシカ、ソレハ此ノ未解決ニ殘サレ居ル聯合國側ノ勝利ニ
 眞ノ結着ヲ與ヘントスルモノナラザル可カラズ。吾人ノ戦争遂
 行ノ方策竝ニ終戦ノ形式、新平和秩序形成ニ當リ、此ノ見地ヨ
 リ吾人ハ常ニ新世界秩序ノ建設的構想ヲ準備シ、一ツノ世界秩
 序ノ經倫ヲ行ヌニ非ザレバ、物的手段ニ依リ戦争ニ勝テ得テモ
 眞ノ勝利ヲ獲タル事ト云フヲ得ズ、其レハ必然第三次大戦ヲ招

外務省

來スヘシ」ナル趣旨ノ見解ヲ披瀝シ居ルハ今次戦争ニ對スル米
 國ノ態度ノ積極性、眞劍性、徹底性ヲ語り居ルモノト注目ニ値
 スヘシ

外務省

(二) 以上ノ見解ニモ明ナル如ク、米國ノ今次大戰處理ニ對スル態度トシテ、第一次大戰ト今次大戰ト一聯ノ戰爭トシテ把ヘ、今次大戰ノ處理ヲ以テ第一次大戰以來ノ諸矛盾ノ一貫的解決ヲ企圖シ居ル點ハ極メテ顯著ナリ。此ノ意味ニ於テ聯合國側、就中米英國側トシテ物的手段ヲ以テスル交戰終結後ノ段階コソハ實質的ニハ寧ロ今次大戰ノ後半段階タルノ意味ヲ有シ、平和的、政治的手段ヲ以テスル政治的、社會的、經濟的新現實形成ノ諸活動ニ依ル、先ノ所謂「アイディア」ノ世界ニ於ケル勝利ヲ確保シ以テ彼等ノ所謂「完全ナル勝利」ヲ獲得セントスル努力ハ前半段階ニ於ケル物的勝利ヘノ努力ニモ増シテ精力的ニ徹底的ニ行ハルルモノト考ヘサルヘカラス

外務省

以上ノ見地ニ立ツテ、吾人ノ課題タル平和條約ヲ考フレバ、其ノ實質的意義ハ從來ニ於ケル其レト極メテ與サレルモノナラヘキコト明ナリ。即チ前述セル如ク物的手段ニ依ル交戦終結後ノ對敗戰國活動ニ賦與セラレタル重要性ハ必然平和條約ノ意義ヲ著シク形式化乃至空虛化セシムト云ハザルヲ得ス。從來平和條約ハ戰後秩序ノ寧口發足の點タル意味ヲ有シ居リ比較的ニ相務的契約ノ性格ヲ有シ居リタルニ對シ、今次ハ寧口戰後秩序ノ終着點タル意味ヲ有シ片務的命令的性格ガ濃化シ其ノ事後記錄的意義ト其ノ維持確保ヲ主眼トスル寧口保證的機構タルノ任務ニ其ノ重要使命ガ見出サルヘシ。

同斯クテ斯カル性格ヲ有スヘキ今次平和條約ト我が憲法問題トノ關係ヲ考察スレバ、問題ハ

(一) 聯合國ノ我が政治基本機構ト社會機構ノ民主化ヲ實現セんとスル對日管理政策ノ原則ノ貫徹

(二) 日本ニ形成セラレタル新現實維持ヲ確保ノ保證手段ノ具體

外 務 省

化

ガ差シ當リ考ヘラルル處、以上說キ來レル聯合國、就中米國今次大戰ニ對スル態度ニ鑑ミ、又、第一次大戰後ノ獨逸處理ノ苦キ失敗ノ成跡ニ鑑ミ、第一項ノ課題ニ關シテハ、少クトモ平和條約締結時ニ至ル迄ノ間ニ於テ其ノ管理政策ヲ強力ニ推進シ一應彼等ノ求ムルガ如キ政治的社會的秩序ヲ現實ニ實力ヲ以テ形成シ完結ヤントスルノ意圖ヲ考ヘザルヲ得ス。

斯クテ平和條約トシテハ、前文又ハ首章ニ聯合國ノ民主主義的指導原理ヲ寧口抽象的ニ記シ、既成ノ「國際聯合」ノ加入資格ノ獲得ニ關聯シ、其ノ條件規定ニ關係シ、日本ノ反民主化進行ヲ國際的規模ノ下ニ阻止スル何等カノ工夫ヲ構ズルニ非ザルヤ、此ノ問題ハ結局第二項ノ新秩序維持ノ保證手段ノ具體化ノ問題ト關聯セサルヲ得ズ

外 務 省

(五) 平和條約ハ右ノ保證手段トシテ、先ツ象徴的駐兵ヲ以テ裏付ケル何等カノ監視的機關ヲ規定スルモノニ非ズヤ、其ノ形式ハ例ヘバ現在ノ對日管理理事會の國際的性質ヲ擔ヘルモノ或ハ其ノ延長的存在タルヘク結局ハ實質的ニ米國ニ依ル政治顧問的性質ヲ帶ビル公算アルヘシ、其ノ任務トシテ或ハ「ボツダム」宣言ニ所謂「最終的ノ日本國ノ政府ノ形態」決定ヲ行フヘキ國民ノ自由ナル意志表示ノ爲ノ國民投票ノ監視ヲ其ノ使命トシテ持ツ事モ考慮セラルヘシ、其ノ大體任務ハ終戰後發セラレタ重要指令ノ實施結果ノ報告ヲ基礎トスル日本ニ於ケル新秩序固定化努力ニ向ケラルヘシ。

外務省

(六) 斯クテ我方トシテハ「ボツダム」宣言ノ原則ニ沿フ國內諸重要懸案ノ徹底的自主的ナル民主化合理化ヲ進捗セシメ、可及的急速ニ現實ニ於テ實踐ヲ形成シ、聯合國側ノ干涉機會ヲ可及的ニ封殺スル事ガ、我が國體民主主義化問題ニ關スル限り、平和條約ニ依ル主權上ノ制約ヲ形式化シ脱胎スルノ最善方策タルヘシ此ノ見地ヨリシテ、早キニ及ブ憲法問題ヲ始メトシテ、基本的政治機構制度ノ最モ合理的ニシテ聰明ナル改革ノ具體化コソ、吾人ニトリ本課題解決ノ楨柱タリ。然ル時ハ平和條約ニ於テハ本件ハタダ一ノ形式的構成要素ト化セシムル事モ可能ナルヘシ。

外務省



解除
第7回公開

(平和條約問題研究資料)

昭和二一、一、三一

課題

政治條項

3、領土條項

(研究試案)

政務局

外務省

領土條項

一 聯合國側ノ提案スヘキ平和條約案中領土條項ノ内容ニ關スル想
定

(一) 帝國ノ領土ニ關シテハ「カイロ」宣言及「ポツダム」宣言ニ依リ本州、北海道、九州及四國並ニ聯合國ニ於テ決定スル諸小島ニ局限セラルヘキ旨明ニセラレ尙客年十二月十九日聯合國最高司令官ノ占領政策再聲明ハ對島カ我領土タルヘキコトヲ述ヘ居レリ

(イ) 「カイロ」宣言中領土ニ關係アル條項

右同盟國ノ目的ハ日本國ヨリ千九百十四年ノ第一次世界戰爭ノ開始後ニ於テ日本國カ奪取シ又ハ占領シタル太平洋ニ於ケル一切ノ島嶼ヲ剝奪スルコト並ニ滿洲、臺灣及澎湖島ノ如キ日本國カ清國人ヨリ盜取シタル一切ノ地域ヲ中華民國ニ返還スルコトニ在リ日本國ハ又暴力及貪慾ニ依リ日

外務省

本國カ掠取シタル他ノ一切ノ地域ヨリ驅逐セララルヘシ
前記三大國ハ朝鮮ノ人民ノ奴隸狀態ニ留意シ聽テ朝鮮ヲ自
由且獨立ノモンタラシムルノ決意ヲ有ス

(四) 「ポツダム」宣言第八項

「カイロ」宣言ノ條項ハ履行セララルヘク又日本國ノ主權ハ
本州、北海道、九州及四國竝ニ吾等ノ決定スル諸小島ニ局
限セララルヘシ

(五) 十二月十九日聯合國最高司令官占領政策再聲明中領土ニ關
スル聲明

日本ノ主權ハ本州、北海道、九州及四國竝ニ對馬ヲ含ム約
一千ノ近接諸小島ニ局限セララルヘシ

外務省